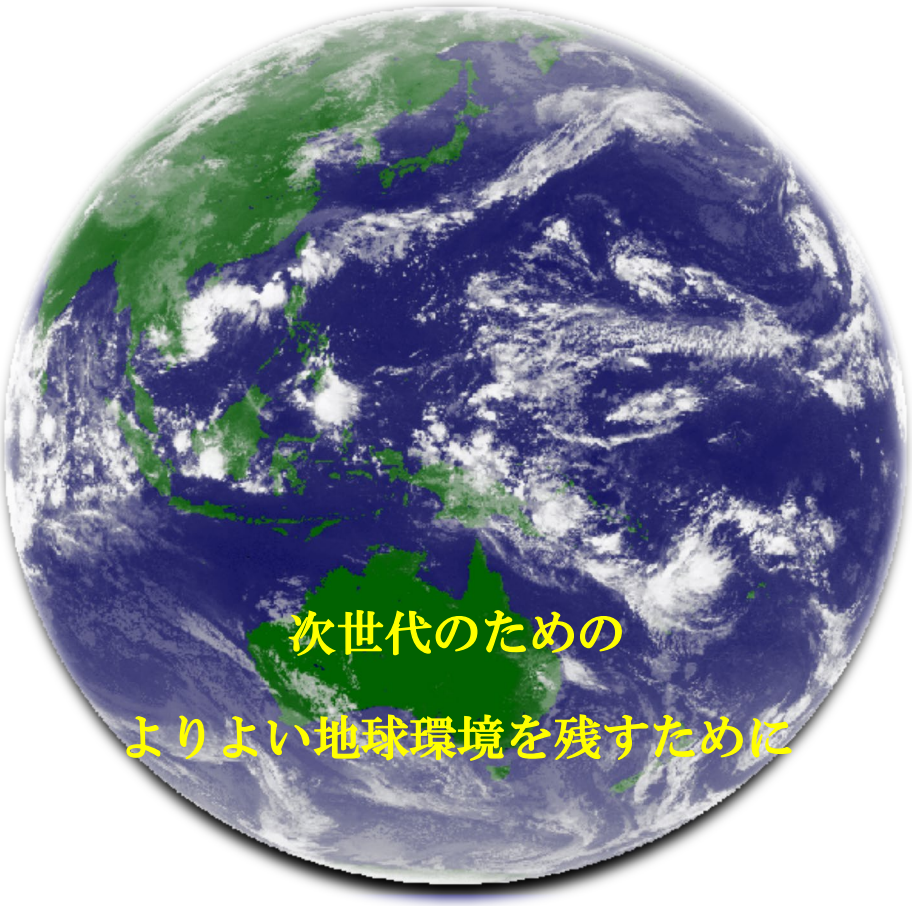
私たちは、地域と地球の環境に配慮した事業者です

®環境省
エコアクション21
認証番号 0008375

エコアクション２１

環境経営レポート 【 第 14 版 】

対象期間 令和５(2023)年６月～令和６(2024)年５月



株式会社　山 内 産 業

令和 ６年１０月１６日 発行

目　　次

１．　環境経営方針　　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１

２．　会社概要　　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２

３．　認証登録の範囲　　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２

４．　実施体制　　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３

５．　環境経営目標　　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４

６．　環境経営計画・実施状況　　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５

７．　環境活動の取組結果・評価及び次年度の取組・・６，７

８．　環境関連法規遵守と訴訟・苦情　　・・・・・・・・・・・・・８

９．　代表者による全体評価と見直し・指示　・・・・・・・・９

10．　社会貢献活動・環境活動事例集　　・・・・・・・・・・・10, 11

１．環境経営方針

基 本 理 念

株式会社 山内産業は、地球環境の保全のためエコアクション２１に自主的積極的に取り組み次世代の子供たちに緑豊かな地球環境を残す責務があります。

また、地球温暖化などの環境問題が最重要経営課題のひとつであることを認識したうえで継続的改善を図り、環境負荷の削減に努めていきます。

行 動 指 針

① 人材不足の解消と仕事の効率化への取組

② 二酸化炭素（ＣＯ２）排出量の削減

③ 産業廃棄物リサイクル１００％維持

④ 一般廃棄物の分別と量の削減

⑤ 節水の励行

⑥ 環境に関する法律の遵守

⑦ 環境保全に関する地域での社会貢献活動への参加

上記の方針達成の為に、全従業員に周知徹底し、環境活動を推進します。

２０１１年　9月　1日　制定
２０１８年　8月　6日　改訂
２０２０年　1月３０日　改訂

熊本市北区植木町豊田８３０
株式会社　山内産業
代表取締役　山 内　明

２．会 社 概 要

事　業　所　名　株式会社　山内産業

代　表　者　名　代表取締役　山内　明

設　　立　昭和５９年１２月１日

所　　在　　地　〒861-0106　熊本市北区植木町豊田８３０番地
TEL（096）272-0249／FAX（096）272-0383

・本 社　熊本市北区植木町豊田８３０番地
・倉 庫　熊本市北区植木町古閑７３２番地１、２

環境管理責任者　工事主任
事　　務　　局　総務担当

事　業　内　容　特定建設業（土木、とび・土工、舗装）
産業廃棄物収集運搬業（自社工事関連廃棄物のみ取扱）

事　業　規　模　令和 ３ 年度完成工事高　２億９００万円
令和 ４ 年度完成工事高　２億３４００万円
令和 ５ 年度完成工事高　２億３３００万円

資　　本　　金　２８００万円

従　業　員　数　１３ 名　（令和６年１０月１６日 現在）

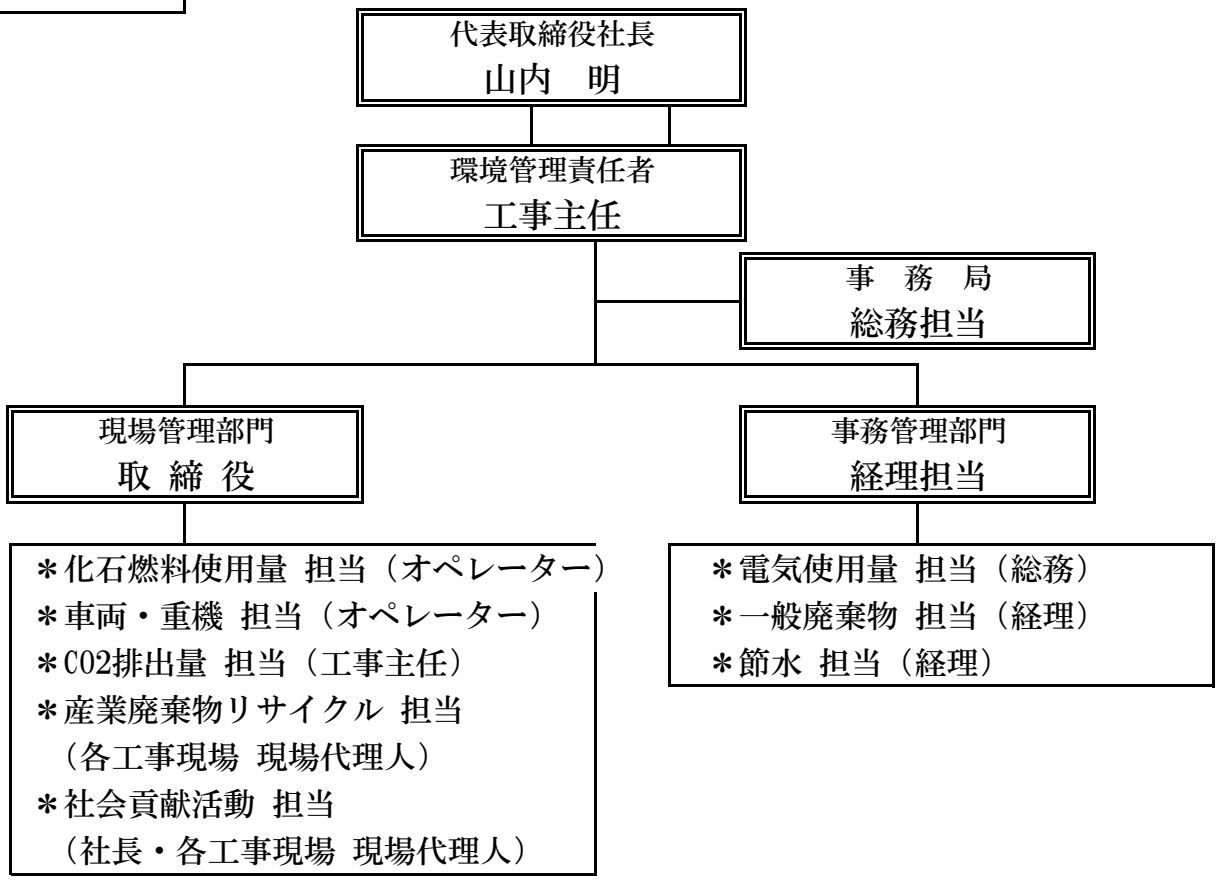
事　業　年　度　６月１日から翌年５月３１日

３．認証登録の範囲

認証・登録範囲　全事業・全組織を対象とする。

4．実 施 体 制

組織図



＊責任と権限＊

代表取締役社長	＊ 総括責任　　＊ 環境方針の制定 ＊ 環境目標及び環境活動計画の承認 ＊ 代表者による評価の実施 ＊ 緊急事態発生の判断、特定、訓練、見直し
環境管理責任者	＊ 教育の実施 ＊ 環境活動レポートの起案 ＊ 環境情報の連絡 ＊ 外部からの苦情の窓口
事　務　局	＊ 文章及び記録類の作成・維持・管理 ＊ 環境管理責任者の補佐
部門責任者	＊ 達成に向けた取組の推進
各　担　当	＊ 会社が定めた環境活動への取組み

５．環境経営目標

株式会社　山内産業は、代表者の声かけの下エコアクション２１に取り組む以前より節電、節水、アイドリングストップ、リサイクルにと積極的に環境活動に取り組んでいます。

さらにエコアクション２１に取り組むことにより、目標を数値化し、従業員の意識を向上させ徹底して取り組んでいきます。

◎中期環境経営目標（３か年）　　＊事業年度：６月１日～翌年５月３１日

環境目標	単位	令和１～３年度平均（実績・基準）	令和４年度（目　標）	令和５年度（目　標）	令和６年度（目　標）
①人材不足の解消と仕事の効率化への取組	―	― ―	労働時間短縮 作業効率化	労働時間短縮 作業効率化	労働時間短縮 作業効率化
②ガソリン使用量の削減	L	8,353 （基準）	8,311 （－0.5%）	8,286 （－0.8%）	8,269 （－1.0%）
③-1 軽油使用量の削減（車両系）	L	11,174 （基準）	11,118 （－0.5%）	11,085 （－0.8%）	11,062 （－1.0%）
③-2 軽油使用量の削減（重機系）	L	30,160 （基準）	30,009 （－0.5%）	29,919 （－0.8%）	29,858 （－1.0%）
灯油使用量の削減　※１	L	数量把握	数量把握	数量把握	数量把握
④電気使用量の削減　令和３年度実績（本社電気使用量）　※２	kWh	2,689 （基準）	2,676 （－0.5%）	2,667 （－0.8%）	2,662 （－1.0%）
⑤ＣＯ2排出量の削減 九州電力CO2排出係数　2022年10月（0.398kg-CO2/kWh） ※②～④のＣＯ2合計／完工高 原単位	kg-CO2 kg-CO2/百万円	129,434 （基準） 601	128,787 （－0.5%） 598	128,399 （－0.8%） 596	128,140 （－1.0%） 595
⑥産業廃棄物のリサイクル率維持	%	100	100	100	100
⑦一般廃棄物量の削減　令和３年度実績	ｋｇ	16.9 （基準）	16.8 （－0.5%）	16.8 （－0.8%）	16.7 （－1.0%）
⑧節水の励行　令和３年度実績	m3	64.0 （基準）	63.7 （－0.5%）	63.5 （－0.8%）	63.4 （－1.0%）
⑨地域での社会貢献活動実施	活動	植樹活動	植樹活動	植樹活動	植樹活動

※１：灯油使用量　使用量が極少のため数量把握をし、ＣＯ2排出量に含む。

※２：電気使用量　事務所のみ。現場事務所は、設置数により数値が増減するため数値把握しＣＯ2排出量に含む。

④⑦⑧については、令和３年度実績を基準とする。（本社建替により基準値が変動したため。）

６．環境経営計画・実施状況

実施状況 ◎○△× は、令和 ６年１０月４日 環境管理責任者が判定。（◎は○の中でも特に優れている）

①人材不足の解消と仕事の効率化への取組

取　組　内　容	実施状況
労働時間の短縮　（・有給休暇取得の推進・年間休日日数88日→106日・残業時間の削減）	◎
夏場の作業効率化（・熱中症対策の徹底・経口補水液の常備・ｽﾎﾟｰﾂ飲料の配布・空調服の着用）	◎

②ガソリン使用量の削減・③-1 軽油使用量（車両系）の削減

取　組　内　容	実施状況
エコドライブの徹底　（・ふんわりアクセル・加減速の少ない運転・早めのアクセルオフ・アイドリングストップ・不要な荷物は積まない）	◎
低排出ガス認定車の利用	◎
資材運搬時の効率的な運搬ルートの選択、現場往復時の相乗りの推進	◎
車検の実施。毎週月曜日朝礼時、車両点検の実施、燃費測量（４月・10月）	◎

③-2 軽油使用量（重機系）の削減

取　組　内　容	実施状況
排出ガス対策型、低騒音、低振動建設機械の利用	◎
重機不要時のアイドリングストップ	◎
重機の定期点検整備の実施	◎

④電気使用量（事務所）の削減

取　組　内　容	実施状況
室内温度の適正管理（夏場 ２８度、冬場 ２０度）	△
不在箇所、昼休みなどの不必要な電気消灯の徹底。パソコン・コピー機等の節電	△
夏季にはクールビズ、冬季にはウォームビズを行い冷暖房の使用抑制	○

⑤ＣＯ２排出量の削減

取　組　内　容	実施状況
上記①～④によるＣＯ２排出量の削減	◎

＊灯油については、使用量が極少のため目標から外す。CO2排出量計算のため数値把握をする。

⑥産業廃棄物のリサイクル率維持

取　組　内　容	実施状況
工事仕様書の厳守	◎
民間工事でのリサイクル処理	◎

⑦一般廃棄物（燃えるゴミ）の削減

取　組　内　容	実施状況
コピー用紙の削減（裏紙使用の徹底・プリントミスを無くす）使用後リサイクル	◎
現場でのゴミの分別（リサイクルの徹底）、個々のゴミ持ち帰りの推進	○
プリンターのインクカートリッジを回収し、リサイクルを図る	◎

⑧節水の励行

取　組　内　容	実施状況
水道の出しっぱなし、蛇口の締め方の心がけ	◎
水の溜め洗い	◎

⑨地域での社会貢献活動実施

取　組　内　容	実施状況
ボランティア活動の実施、強化（植樹活動）	◎
工事現場周辺住民への工事説明	◎
騒音・振動・粉塵への配慮、生物多様性への配慮（濁水を流さないなど）	◎

７．環境活動の取組結果・評価及び次年度の取組

＊取組結果・評価＊

評価基準		
	○	１００％以上
	△	９９％～８０％
	×	８０％以下（是正対象）

① 人材不足の解消と仕事の効率化への取組

令和1～3年度	令和５年度（6～5月）		取組結果	
6～5月（１年）	6～5月（１年）			
基準値	目標	実績	達成率	評価
—	労働時間短縮 作業効率化	労働時間短縮 作業効率化	100％	○

令和６年４月より４週８休を徹底している。導入したソフトを活用し、作業の効率化を図る。
【資格取得】
・ﾁｪｰﾝｿｰ（２名）・ﾛｰﾗｰ（１名）
・小型移動式ｸﾚｰﾝ・車両系（１名）
・２級土木施工管理（２名）

② ガソリン使用量の削減

（単位：Ｌ）

令和1～3年度	令和５年度（6～5月）		取組結果	
6～5月（１年）	6～5月（１年）			
基準値	目標値	実績値	達成率	評価
8, 353	8, 286	6, 030	137％	○

昨年度の工事現場は、遠方かつ上り下りの多い現場だったが、今年度は近隣だったこともあり、使用量が激減している。
工事場所、内容により使用量が増減がある。今後も数値にばかりとらわれずに活動を継続する。

③ -1軽油使用量の削減（車両系）

（単位：Ｌ）

令和1～3年度	令和５年度（6～5月）		取組結果	
6～5月（１年）	6～5月（１年）			
基準値	目標値	実績値	達成率	評価
11, 174	11, 085	9, 098	122％	○

工事場所、内容が変わると使用量が増減する。
毎週月曜日の点検を怠らずに行う。
今後も数値にとらわれず、地道に活動を継続する。

③ -2軽油使用量の削減（重機系）

（単位：Ｌ）

令和1～3年度	令和５年度（6～5月）		取組結果	
6～5月（１年）	6～5月（１年）			
基準値	目標値	実績値	達成率	評価
30, 160	29, 919	28, 485	105％	○

工事場所、内容が変わると使用量が増減する。
重機不要時には、エンジンを切るように指導している。
今後も数値にとらわれず、地道に活動を継続する。

④ 電気使用量の削減（事務所）

（単位：kWh）

令和３年度	令和５年度（6～5月）		取組結果	
6～5月（１年）	6～5月（１年）			
基準値	目標値	実績値	達成率	評価
2, 689	2, 667	2, 874	93％	△

事務所では、節電・節水・節約をモットーに活動している。
コロナも５類に移行したが、感染防止のため、窓を少し開け、常に換気をしている。
今後も節電を意識して活動する。

⑤ ＣＯ２排出量の削減

（工事現場での電力使用量・灯油使用量含む）（単位：kg-CO2）

令和1～3年度	令和５年度（6～5月）		取組結果	
6～5月（１年）	6～5月（１年）			
基準値	目標値	実績値	達成率	評価
129, 434	128, 399	120, 447	107%	○
※完工高 原単位との比較（ｋｇ-CO2/百万円）			達成率	評価
601	596	517	115%	○

今年度は、工事場所が近隣かつ工事内容によりCO2排出量が減少した。井芹川の現場では、水替工のため排水ポンプが常時稼働しており、現場での電気使用量（動力発電）が激増したが、最終的には、目的達成となった。

今後も数値の増減にとらわれず、節電等に努め、地道に活動を継続する。

⑥ 産業廃棄物のリサイクル率維持

令和３年度	令和５年度（6～5月）		取組結果	
6～5月（１年）	6～5月（１年）			
基準値	目標値	実績値	達成率	評価
１００％	１００％	１００％	100%	○

今後も工事仕様書、産業廃棄物処理法等、全ての法を厳守して適切に処理を行う。令和 ６年 ６月 ７日熊本市へ産業廃棄物管理票交付等状況報告書・多量排出事業者（処理計画書）の提出（1000ｔ以上）

⑦ 一般廃棄物（燃えるゴミ）の削減

（単位：kg）

令和３年度	令和５年度（6～5月）		取組結果	
6～5月（１年）	6～5月（１年）			
基準値	目標値	実績値	達成率	評価
16. 9	16. 8	13. 9	121%	○

今年度もゴミ削減の効果が表れた。お弁当・マイボトル持参することとコロナの影響で来客の減少でゴミの量が激減となった。
今後も数値にとらわれず、地道に活動を継続する。

⑧ 節水の励行

（単位：m3）

令和３年度	令和５年度（6～5月）		取組結果	
6～5月（１年）	6～5月（１年）			
基準値	目標値	実績値	達成率	評価
64. 0	63. 5	39. 0	163%	○

お弁当・マイ水筒持参によるゴミ減量の効果が表れている。令和６年１月より１名産休育休により、使用量が減少している。
今後も節水に努める。

⑨ 地域での社会貢献活動実施

令和３年度	令和５年度（6～5月）		取組結果	
6～5月（１年）	9～5月（9ヶ月）			
基準値	目標値	実績値	達成率	評価
―	植樹活動	植樹活動	100%	○

NPO21 金峰・有明環境会議 主催
金峰山への植樹活動。
令和６年３月３日（日）４名参加
また、工事着工前には周辺住民へ工事のお知らせのチラシを配布している。（周知徹底）

＊次年度の取組＊

前年度の取組結果を踏まえ、これまでの環境経営計画を継続して取り組む。

８．環境関連法規遵守と訴訟・苦情

(株)山内産業は、環境関連法規遵守状況チェックの結果及び訴訟等の有無については、次のとおりでした。

適用される法規制	遵守状況
● 廃棄物処理法	○
● オフロード法	○
● 建設リサイクル法	○
● 自動車リサイクル法	○
● 家電リサイクル法	○
● リサイクル法	○
● 小型家電リサイクル法	○
● 指定副産物利用促進省令	○
● フロン排出抑制法	○
● 騒音規制法	○
● 振動規制法	○
● 浄化槽法	○

過去３年間、環境関連法規等の違反はなく、また関係機関からの訴訟、指摘また外部からの苦情等は、１件もありませんでした。

遵守状況 ･･･ 環境管理責任者 令和 ６年９月３０日判定。

９．代表者による全体評価と見直し・指示

＊全体評価

エコアクション21活動に取り組み始めて10年以上が経過した。令和５年度も以前と同様、入札競争が激化しているなか、熊本県の工事を落札し、優良工事表彰を頂くことができた。

なかなか若い人材が定着せず、人材の高齢化が悩めるところではあるが、丁寧な対応をモットーとし、信用される会社であり続けたい。

今後も法令遵守し、早急かつ安全な工事を行い、現場周辺住民とのコミュニケーションを大切にし、模範となる会社づくりを行っていく。

評価日：令和　６年　１０月　４日

＊個別評価

氏名：代表取締役　山内 明

項　目	変更の有無	評　価	見直し・評価
環境経営方針	（□有・■無）	○良い	特に問題が無い。現状維持で活動を行う。
環境経営目標	（□有・■無）	○良い	特に問題が無い。現状維持で活動を行う。
環境経営計画	（□有・■無）	個別評価	
	①人材不足の解消と仕事の効率化への取組	○良い	①土木業務用ソフト（デキスパート・Gaia）の導入。作業効率化を図ることで、働き方改革に繋げる。
	②ｶﾞｿﾘﾝ・軽油（車両系）使用量の削減	○良い	②工事現場が近隣だったこともあり、使用量が減少。今後もエコドライブ10に努めるよう指導する。
	③軽油（重機系）使用量の削減	○良い	③工事現場が近く、工事内容も前年度と違い使用量が減少。今後も重機不要時には、エンジンを切るよう指導する。
	④電力使用量（事務所）の削減	△普通	④事務所では、節電・節水・節約に努めている。今年度は、目標値達成できなかったが、今後も節電に努める。
	⑤産業廃棄物のリサイクル率維持	○良い	⑤今後も法令遵守を継続し、適切な処理を指導する。
	⑥一般廃棄物（燃えるゴミ）の削減	◎非常に良い	⑥今年度もお弁当・マイ水筒持参によるゴミ減量の効果で目標値達成となった。今後も活動を継続する。
	⑦節水の励行	◎非常に良い	⑦今年度もお弁当・マイ水筒持参による節水の効果により目標値達成となった。今後も節水に努めるよう指導する。
	⑧地域での社会貢献活動実施	○良い	⑧今年度も金峰山の植樹活動に参加。（令和６年３月３日）現場周辺住民への丁寧な対応を行い、苦情ゼロを指導。
実施体制	（■有・□無）	◎非常に良い	特に問題が無い。現状維持で行う。

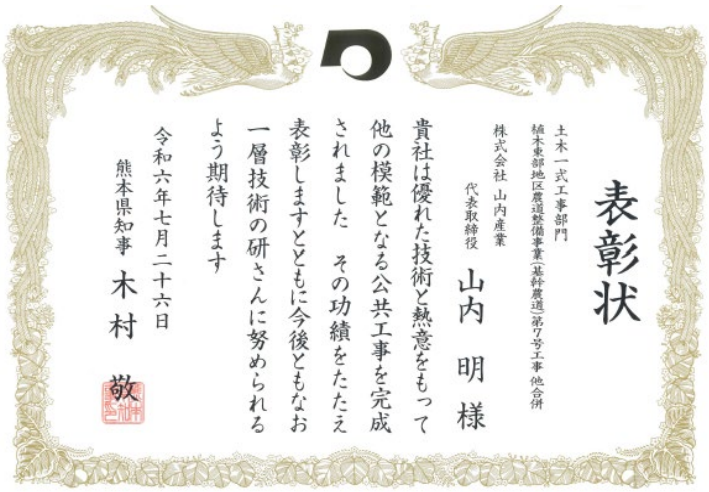
我々の務めは、
次世代の子供たちと地球環境を
守るために一人一人が少しでも
地球に優しい生き方をすることだと思う。

10．社会貢献活動・環境活動事例集

＊NP021 金峰・有明の森づくり（植樹活動）　　令和６年３月３日（日）４名参加

工事名：植木東部地区農道整備事業（基幹農道）第７号工事　他合併

熊本県
優良工事


表彰状

土木一式工事部門
植木東部地区農道整備事業（基幹農道）第7号工事 他合併
株式会社 山内産業
代表取締役 山内 明 様

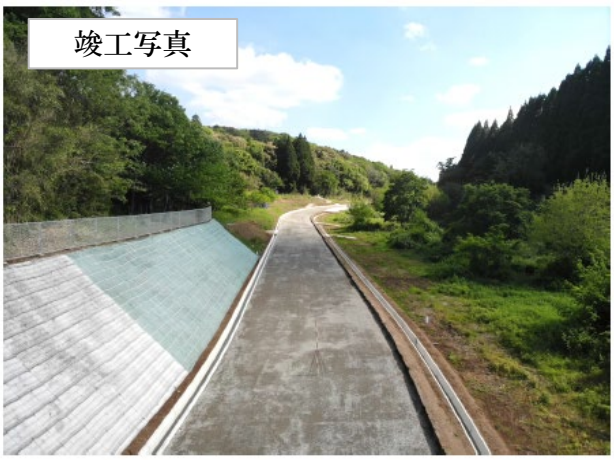
貴社は優れた技術と熱意をもって他の模範となる公共工事を完成されました その功績をたたえ表彰しますとともに今後ともなお一層技術の研さんに努められるよう期待します

令和六年七月二十六日
熊本県知事 木村 敬

令和６年度　熊本県農村振興技術連盟研修会にて

【令和６年５月３１日（金）　メルパルク熊本】

技術事例等発表（優秀工事部門）



緊急事態訓練状況

＊燃料流出時

＊砕石飛散時

＊太陽光発電システム導入（平成27年より）

・本社　車庫の屋根に設置（全量売電）

令和５年度発電量　13,995 kWh
（前年度より 384 kWh減）

・受給最大電力（発電設備出力）
14.865 kWh

＊月曜朝礼・安全会議　エコドライブ10の唱和

～ エコドライブ１０のすすめ ～

① ふんわりアクセル『ｅスタート』
② 加減速の少ない運転
③ 早めのアクセルオフ
④ エアコンの使用を控えめに
⑤ アイドリングストップ
⑥ 暖気運転は適切に
⑦ 道路交通情報の活用
⑧ タイヤの空気圧をこまめにチェック
⑨ 不要な荷物は積まずに走行
⑩ 駐車場所に注意

MAP

一般土木・舗装・造成・砕石販売・産業廃棄物処理

株式会社　山 内 産 業

代表取締役　山内　明

〒861-0106　熊本市北区植木町豊田８３０番地

ＴＥＬ（096）272-0249 ／ ＦＡＸ（096）272-0383